

令和4年度 学校評価



あさぎり町立深田小学校

学校教育目標	1	教育方針・目標の理解	考察																								
	学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。		学校の教育方針・目標の理解の肯定的数値は高い。ただし、保護者と教職員で「そう思う」の数値より「どちらかという」と思うの数値が高い。また、保護の中には否定的評価が見られる。 今後、保護者にピンポイントでしっかりと伝わるような手立てが必要である。																								
<table border="1"> <caption>教育方針・目標の理解の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかという</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>80%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>20%</td> <td>65%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>95%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40%</td> <td>55%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	そう思う	どちらかという	あまりそう思わない	そう思わない	学校関係者	80%	15%	5%	0%	保護者	20%	65%	10%	5%	児童生徒	95%	5%	0%	0%	教職員	40%	55%	5%	0%	
対象者	そう思う	どちらかという	あまりそう思わない	そう思わない																							
学校関係者	80%	15%	5%	0%																							
保護者	20%	65%	10%	5%																							
児童生徒	95%	5%	0%	0%																							
教職員	40%	55%	5%	0%																							
学校教育目標	2	充実した学校生活	考察																								
	児童は、充実した学校生活を送っていると思いますか。		全体では肯定的な評価が多い。昨年度まではコロナ禍で行事や学校活動が限定されることもあったが、本年度可能なものはできるだけ元に戻していった結果と考えられる。ただし、保護者で否定的な数値が若干見られる。今後も児童の「充実した姿」を求めて、学校生活が充実するような取組の工夫をし、目標設定をさせることを進める。それをクリアして達成感を味わった児童の姿を見届けていくと共に保護者へ伝わるような手立てが必要である。																								
<table border="1"> <caption>充実した学校生活の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかという</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>95%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>55%</td> <td>35%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>90%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>80%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	そう思う	どちらかという	あまりそう思わない	そう思わない	学校関係者	95%	5%	0%	0%	保護者	55%	35%	10%	0%	児童生徒	90%	10%	0%	0%	教職員	80%	15%	5%	0%	
対象者	そう思う	どちらかという	あまりそう思わない	そう思わない																							
学校関係者	95%	5%	0%	0%																							
保護者	55%	35%	10%	0%																							
児童生徒	90%	10%	0%	0%																							
教職員	80%	15%	5%	0%																							
教科指導	3	授業づくりの工夫	考察																								
	学校全体で、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。		肯定的な数値が大半を占めるが、保護者・児童の「あまりそう思わない」評価が確認でき、課題である。コロナ禍で授業参観等の回数の制約があり、授業を公開する機会も少なく、特に保護者に工夫した授業づくり、わかる授業、丁寧な授業を強く確信してもらうには、アピール不足であったことも否めない。学校としては、校内研修や日々の授業力向上プラン、管理職による授業参観を更に進め、授業改善をしっかりと実践していく必要がある。また、今後さらに保護者の理解が深まるような授業公開の場づくりも検討していく。																								
<table border="1"> <caption>授業づくりの工夫の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかという</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>80%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>30%</td> <td>55%</td> <td>15%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>90%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>65%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	そう思う	どちらかという	あまりそう思わない	そう思わない	学校関係者	80%	15%	5%	0%	保護者	30%	55%	15%	0%	児童生徒	90%	10%	0%	0%	教職員	65%	25%	10%	0%	
対象者	そう思う	どちらかという	あまりそう思わない	そう思わない																							
学校関係者	80%	15%	5%	0%																							
保護者	30%	55%	15%	0%																							
児童生徒	90%	10%	0%	0%																							
教職員	65%	25%	10%	0%																							
教科指導	4	主体的な学習態度	考察																								
	児童は、主体的に授業に取り組んでいると思いますか。		全体的な評価は高いが、保護者・児童とも否定的数値が現れた。児童にとっては自己に厳しい自己評価ともいえるが、主体的に学んでいることを実感させるための教師側の適切な指導性が求められる。主体的な学習態度は、生涯にわたって学び続ける資質の基盤ともなるので日々の授業の中で最も大切にしていかなければならない。「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する」といった問題解決学習に継続して取り組んでいくことが望まれる。また、保護者に対しては、今後、継続して児童の主体的な活動、意欲的な姿を通信・ホームページ等で紹介していく。																								
<table border="1"> <caption>主体的な学習態度の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う</th> <th>どちらかという</th> <th>あまりそう思わない</th> <th>そう思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>40%</td> <td>55%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>85%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40%</td> <td>55%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	そう思う	どちらかという	あまりそう思わない	そう思わない	学校関係者	40%	55%	5%	0%	保護者	30%	50%	15%	5%	児童生徒	85%	10%	5%	0%	教職員	40%	55%	5%	0%	
対象者	そう思う	どちらかという	あまりそう思わない	そう思わない																							
学校関係者	40%	55%	5%	0%																							
保護者	30%	50%	15%	5%																							
児童生徒	85%	10%	5%	0%																							
教職員	40%	55%	5%	0%																							

郷土愛 「 キャリア教育	5	郷土愛の醸成とキャリア教育の推進	考察
	学校全体で、郷土愛や、仕事への関心や勤労及び将来について考える力の育成を行っていると思えますか。		おおむね肯定的な評価が多いが、保護者の一部にまだ否定的な評価も見られる。キャリアパスポート等の実施の効果は出てきていると考えられる。キャリアパスポートでのコメント等協力を得ているが、今後は更に情報の発信等を十分に行い、保護者の参加の機会も模索しながら、キャリア教育への理解と協力を促していく。また、中学校とも連携を図りながらキャリアパスポートの共通理解、実施を推進していく。
道徳教育	6	道徳、心の教育の充実	考察
	学校全体で、思いやりの心や感謝の心などを大切にする「心の教育」の充実に努めていると思えますか。		教職員・関係者については全てが肯定的評価である。対して保護者の否定的な評価が1割強見られる。道徳教材の家庭での親子読書等の取組を今後も継続し、また、教職員がさらに意識して、家庭へ啓発していくことが必要である。今後も引き続き、道徳の時間を中心としたすべての教育活動において、心の教育の充実を図っていく。
道徳教育	7	あいさつ、礼儀の励行	考察
	児童は、あいさつがきちんとできていると思えますか。		24項目の中で保護者の肯定的評価の数値が3番目に低い項目。校内でのあいさつは向上してきているが、地域・家庭でのあいさつの向上にはまだ至っていない。この結果を学校全体で真摯に受け止め、あいさつについて指導のみならず、認め・ほめることを継続して推進していく。学校運営協議会、地域学校協働活動等の地域の教育力の活用や特別活動での学習・指導等での工夫が更に必要である。
人権教育	8	一人一人の児童の尊重	考察
	学校全体で、一人一人の児童を大切にされた指導や対応ができていると思えますか。		保護者にまだ否定的な評価がある。今年度も心のアンケートや教育相談等を行い、実態把握、チームによる適切な対応を心がけて実践してきた。今後は回数を増やしたり、即時性を持って、よりきめ細やかな対応が求められる。また、保護者との連携も更に密にする必要がある。

人権教育	9	友だちへの思いやり	考察
	児童は、友だちとなかよくしていると思いますか。		全体的には肯定的な評価が多数を占めている。保護者での否定的な評価がなくなるよう、原因を解明すると共に丁寧な説明, 対応が必要である。引き続き学校全体で児童の人権意識を高める取組を一層強化していく必要がある。
学校行事	10	学校行事への参加と工夫	考察
	学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。		昨年度から続きコロナ渦の中で制約を受けた学校行事ではあったが、工夫して開催することで肯定的な評価が多く見られた。児童・関係者の「そう思う」割合が高いことから満足度が高いことが分かるが、今後は、保護者、職員の「そう思う」割合の増加を目指していく。参加しやすい内容や雰囲気づくりを更に工夫し、充実させていく必要がある。保護者や関係者、地域の方のより積極的な参加を企画していく。
生徒指導 教育相談	11	児童理解	考察
	学校全体で、児童のよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。		肯定的な評価が大半を占める中、保護者の「そう思う」割合の少なさや否定的な評価も見られ課題である。学校内で職員全体でも児童理解の時間を設け取り組んでいるが、その取組がしっかりと伝わるような施策も必要である。また、今後、保護者との連携を工夫して、学校総体として全ての児童の更なる理解に努めていく必要がある。
生徒指導 教育相談	12	規範意識	考察
	児童は、規則やマナーを守っていると思いますか。		規範意識の醸成については保護者・教職員・関係者共に「そう思う」はまだ少ない。また、否定的評価も見られる。児童の数値は上がってきているが、「そう思わない」数名の児童について丁寧な支援・指導が必要である。規範意識の向上が本校の課題の一つと言える。今後、家庭や地域と協力して取り組んでいかなければならない事項の一つである。

生徒指導 教育相談	13	いじめや問題への対応	考察															
	いじめや問題があったとき、迅速に話を聞いた り事実確認をしたりして組織的に対応している 学校であると思いますか。		24項目の中で保護者の肯定的な評価の数値が最も低い項目。保護者の否定的な意見への改善が急務である。保護者からの問い合わせ、相談には即時、丁寧に対応をしてきているが更に窓口の多様化等、理解をしていただくべく努めていかなければならない。児童への迅速な対応や保護者への十分な説明が不足していた可能性もあると真摯に捉える必要がある。教職員の対応の仕方についての共通理解・共通実践を図っていく必要がある。															
		<table border="1"> <caption>いじめや問題への対応の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価 (%)</th> <th>否定的評価 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>35</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>20</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>85</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>65</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)	学校関係者	35	65	保護者	20	80	児童生徒	85	15	教職員	65	35	
対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)																
学校関係者	35	65																
保護者	20	80																
児童生徒	85	15																
教職員	65	35																

安全管理	14	安全と事故防止	考察															
	学校は、新型コロナウイルス感染症対策等、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。		新型コロナウイルス感染症対策では国、県、町の方針に合わせて即時対応してきている。また、安全、事故防止についても日頃から指導・支援を行ってきている。しかしながら、保護者、教職員での「そう思う」の割合が半数を占めていない現状がある。今後は更に安心・安全な生活を意識付けさせるとともに、登下校中や地域での事故防止により一層取り組んでいく必要がある。学校が行っているコロナ対策や安全面での取組を保護者へ啓発することも考えていく。															
		<table border="1"> <caption>安全と事故防止の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価 (%)</th> <th>否定的評価 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>80</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>35</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>90</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)	学校関係者	80	20	保護者	35	65	児童生徒	90	10	教職員	45	55	
対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)																
学校関係者	80	20																
保護者	35	65																
児童生徒	90	10																
教職員	45	55																

保健管理	15	健康教育と食育の推進	考察															
	学校全体で、食事や睡眠、新型コロナウイルス感染症対策など健康に対する意識を高めようとしていていると思いますか。		肯定的な評価が多く見られたが、否定的評価が少なくなるようさらなる改善が必要である。健康・安全面、特に養護教諭を中心に感染症予防で徹底している取組や給食・食育担当を中心に食育の様々な取組を行ってきているので今後、それを更にわかりやく啓発していく必要がある。															
		<table border="1"> <caption>健康教育と食育の推進の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価 (%)</th> <th>否定的評価 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>95</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>20</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>85</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)	学校関係者	95	5	保護者	20	80	児童生徒	85	15	教職員	40	60	
対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)																
学校関係者	95	5																
保護者	20	80																
児童生徒	85	15																
教職員	40	60																

学校環境	16	環境の整理・美化	考察															
	学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。		肯定的な評価が多い。「そう思う」の割合が増えるよう、できることから着実に環境美化を続けていく必要がある。また、児童の否定的評価については教室での自分の机、整理棚での整理整頓を厳しくつけているものであり、支援をしていく。															
		<table border="1"> <caption>環境の整理・美化の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価 (%)</th> <th>否定的評価 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>80</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>70</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)	学校関係者	80	20	保護者	45	55	児童生徒	70	30	教職員	45	55	
対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)																
学校関係者	80	20																
保護者	45	55																
児童生徒	70	30																
教職員	45	55																

学校環境	17	施設・設備の安全管理	考察																									
	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。		全体的な数値は高い。今後も継続的な取り組みを進めていきたい。学校施設・設備がやや老朽化しているため、定期的に安全点検を実施し、修繕等が必要な部分は改善するように努めている。早期発見、早期修繕を心がけていく。																									
		<table border="1"> <caption>施設・設備の安全管理の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>満足 (0-100%)</th> <th>やや満足 (10-40%)</th> <th>やや不満足 (40-80%)</th> <th>不満足 (80-100%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>80%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	満足 (0-100%)	やや満足 (10-40%)	やや不満足 (40-80%)	不満足 (80-100%)	学校関係者	100%	0%	0%	0%	保護者	85%	10%	5%	0%	児童生徒	100%	0%	0%	0%	教職員	80%	15%	5%	0%	
対象者	満足 (0-100%)	やや満足 (10-40%)	やや不満足 (40-80%)	不満足 (80-100%)																								
学校関係者	100%	0%	0%	0%																								
保護者	85%	10%	5%	0%																								
児童生徒	100%	0%	0%	0%																								
教職員	80%	15%	5%	0%																								

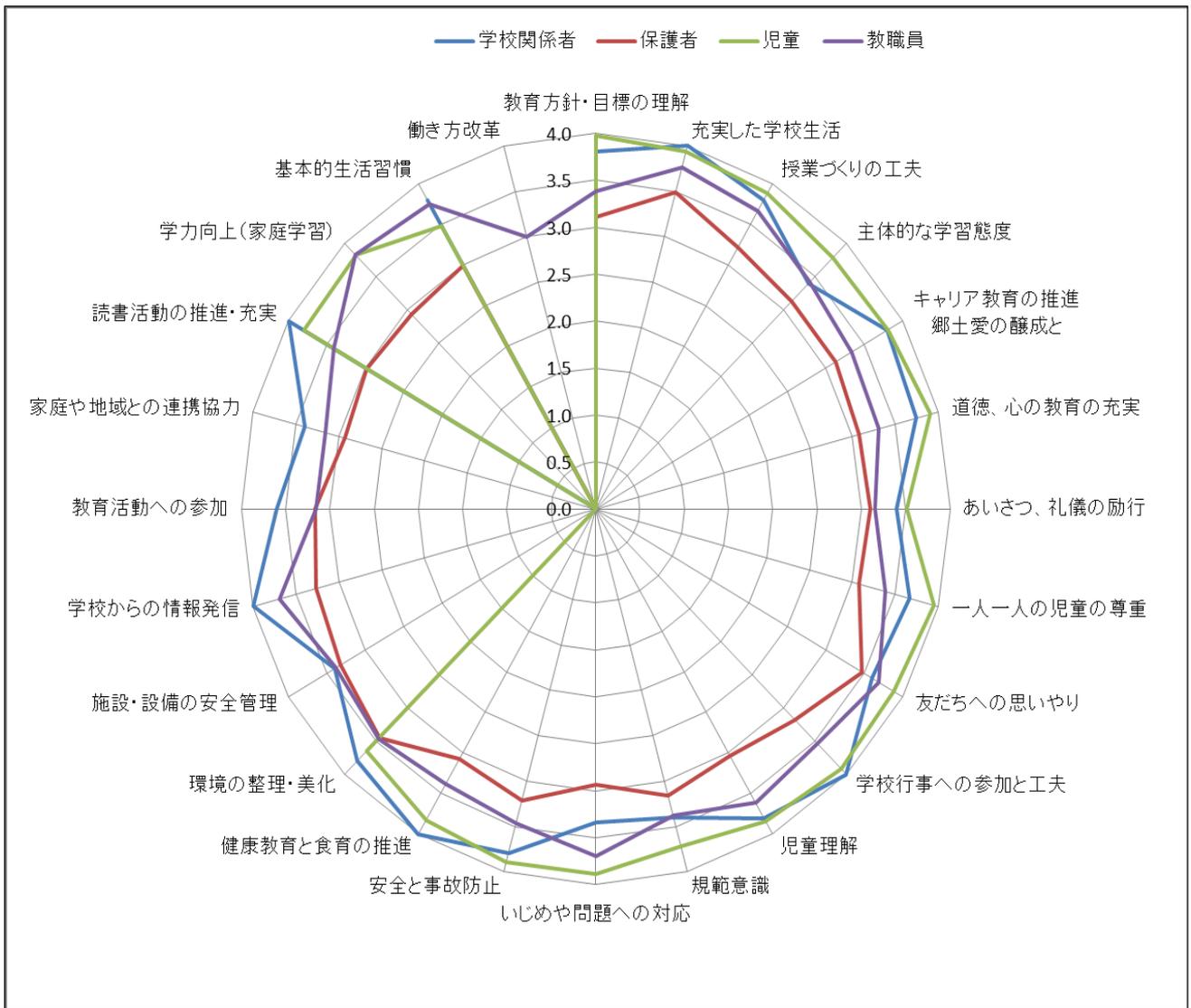
情報の「公開・発信」	18	学校の取組等がわかる情報発信	考察																									
	学校からの通信や便り、ホームページ等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。		関係者・教職員とも評価が高い。学校便り、学級通信ともにほぼ毎週の発行を重ねている。ホームページについても継続的に更新、向上を図り、情報発信を心がけている。また、安心安全メールの活用も使用頻度を高め、情報発信に努めている。有用な情報発信になるよう心がけ「そう思う」割合が増加するように職員の共通理解の取り組んでいく。																									
		<table border="1"> <caption>学校の取組等がわかる情報発信の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>満足 (0-100%)</th> <th>やや満足 (10-40%)</th> <th>やや不満足 (40-80%)</th> <th>不満足 (80-100%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>75%</td> <td>20%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	満足 (0-100%)	やや満足 (10-40%)	やや不満足 (40-80%)	不満足 (80-100%)	学校関係者	100%	0%	0%	0%	保護者	85%	10%	5%	0%	児童生徒	100%	0%	0%	0%	教職員	75%	20%	5%	0%	
対象者	満足 (0-100%)	やや満足 (10-40%)	やや不満足 (40-80%)	不満足 (80-100%)																								
学校関係者	100%	0%	0%	0%																								
保護者	85%	10%	5%	0%																								
児童生徒	100%	0%	0%	0%																								
教職員	75%	20%	5%	0%																								

情報の「公開・発信」	19	教育活動への参加	考察																									
	学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。		コロナ禍の中、教育活動への参加も制約された時期もあり、「そう思う」割合が低くなったと考えられる。その中でも地域学校協働活動推進員や老人会、社会福祉協議会、役場各課、地域の各種ボランティアの方々とは連携を持ち参加、協力をいただいた。今後も継続して、学校便りや学級通信、ホームページ等で情報発信し、保護者や地域の方々为学校の教育活動に参加しやすい体制を整えていく必要がある。																									
		<table border="1"> <caption>教育活動への参加の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>満足 (0-100%)</th> <th>やや満足 (10-40%)</th> <th>やや不満足 (40-80%)</th> <th>不満足 (80-100%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>75%</td> <td>15%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>75%</td> <td>15%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	満足 (0-100%)	やや満足 (10-40%)	やや不満足 (40-80%)	不満足 (80-100%)	学校関係者	100%	0%	0%	0%	保護者	75%	15%	10%	0%	児童生徒	100%	0%	0%	0%	教職員	75%	15%	10%	0%	
対象者	満足 (0-100%)	やや満足 (10-40%)	やや不満足 (40-80%)	不満足 (80-100%)																								
学校関係者	100%	0%	0%	0%																								
保護者	75%	15%	10%	0%																								
児童生徒	100%	0%	0%	0%																								
教職員	75%	15%	10%	0%																								

家庭・地域との連携	20	家庭や地域との連携協力	考察																									
	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。		昨年度と比較して連携・協力できる機会を工夫しながら増やしていった。今後も情報発信に努め、家庭との連携・協力体制を見直し、実践していくことが必要であり、保護者・教職員の否定的な評価の改善を目指す。																									
		<table border="1"> <caption>家庭や地域との連携協力の調査結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>満足 (0-100%)</th> <th>やや満足 (10-40%)</th> <th>やや不満足 (40-80%)</th> <th>不満足 (80-100%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85%</td> <td>10%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>80%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	満足 (0-100%)	やや満足 (10-40%)	やや不満足 (40-80%)	不満足 (80-100%)	学校関係者	100%	0%	0%	0%	保護者	85%	10%	5%	0%	児童生徒	100%	0%	0%	0%	教職員	80%	15%	5%	0%	
対象者	満足 (0-100%)	やや満足 (10-40%)	やや不満足 (40-80%)	不満足 (80-100%)																								
学校関係者	100%	0%	0%	0%																								
保護者	85%	10%	5%	0%																								
児童生徒	100%	0%	0%	0%																								
教職員	80%	15%	5%	0%																								

読書活動	21	読書活動の推進・充実	考察
	学校は、読書活動の充実に向けて取組を工夫していると思いますか。		関係者・児童・教職員とも肯定的評価になった。「そう思う」割合は保護者・教職員でまだ低い状況である。年間を通しての読書活動推進の計画を見直し、読書の機会を増やし、本好きの子どもを育成していくことを学校総体として取り組んでいく。現段階で図書担当を中心に図書関連の行事・イベントの開催、図書だよりの発行を行ってきているので、それを生かしながら、今後読み聞かせボランティアの活動とも連携し、PTAや地域を巻き込んでの活動も考えられる。
その他	22	学力向上(家庭学習)	考察
	家庭学習が充実するように、その指導や働きかけの工夫を行っていますか。		児童・教職員の肯定的評価の値は高い。家庭学習を真剣に取り組んでいる意識があると捉えられる。一方、保護者の否定的な評価の数値が2割あり、課題である。家庭との連携を図りつつ、保護者のニーズにも応えながら、児童の学力向上が効果的にできるものを検討していく必要がある。タブレットの持ち帰りでe-ライブラリー等の家庭学習も取り組み始めており、今後も活用し、家庭への活用効果の啓発も進めていく。
その他	23	基本的な生活習慣	考察
	学校は、基本的な生活習慣の定着に向けた指導や家庭・地域への啓発に努めていると思いますか。		24項目の中で保護者の肯定的な評価の数値が2番目に低い項目。保護者・児童で否定的な評価が見られる。今後は深田っ子家庭の日、深田っ子がんばりウィーク等、家庭と連携しての取組を刷新すること、更なる習慣化が必要である。また、懇談会や各種行事等で基本的な生活習慣の定着に向けた指導や家庭・地域への啓発、外部専門家による支援の講演、講座の開催等も視野に入れながら検討を進めていく必要がある。
その他	24	働き方改革	考察
	学校は、働き方改革が進んでいると思いますか。		8割弱が肯定的評価だがその一方でまだ進んでいないという評価も見られる。教職員個別に改善された点、課題点を整理するとともに、ライフワークバランスや勤務時間の意識化、休暇の積極的な取得等の改善を進めていく。また、校務のスクラップアンドビルド、ICT化で作業の効率化を図っていく。PJ部会や隣接学年部も活用しながら建設的な意見を広く集め、今後、更に業務の改善による負担感の軽減を進めていかなければならない。

	教育方針・目標の理解	充実した学校生活	授業づくりの工夫	主体的な学習態度	キャリア教育の推進 郷土愛の醸成と	道徳、心の教育の充実	あいさつ、礼儀の励行	一人一人の児童の尊重	友だちへの思いやり	学校行事への参加と工夫	児童理解	規範意識	いじめや問題への対応	安全と事故防止	健康教育と食育の推進	環境の整理・美化	施設・設備の安全管理	学校からの情報発信	教育活動への参加	家庭や地域との連携協力	読書活動の推進・充実	学力向上（家庭学習）	基本的な生活習慣	働き方改革
学校関係者	3.8	4.0	3.8	3.4	3.8	3.8	3.4	3.7	3.6	4.0	3.8	3.4	3.3	3.8	4.0	3.8	3.4	4.0	3.6	3.4	4.0	3.8	3.8	3.8
保護者	3.1	3.5	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.5	3.2	3.0	3.2	2.9	3.2	3.1	3.5	3.3	3.3	3.2	2.9	3.0	2.9	3.0	3.0
児童	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.9	3.5	4.0	3.9	3.9	3.8	3.7	3.9	3.9	3.8	3.7	####	####	####	####	3.8	3.8	3.5	####
教職員	3.4	3.8	3.7	3.4	3.3	3.3	3.2	3.4	3.7	3.5	3.6	3.4	3.7	3.5	3.4	3.5	3.4	3.7	3.2	3.2	3.4	3.8	3.8	3.0



令和4年度 学校評価の結果【保護者アンケート】

(肯定的割合の数値は、「4そう思う+どちらかというと思う」の割合%)

項目	保護者への設問内容	肯定的割合	4そう思う
⑰施設・設備の安全管理	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	99	34
⑨友だちへの思いやり	お子さんは、友だちとなかよくしていると思いますか。	96	51
②充実した学校生活	お子さんは、充実した学校生活を送っていると思いますか。	96	41
⑯環境の整理・美化	学校は、校舎内外(花壇や掲示物など)がきちんと整理されていると思いますか。	95	50
⑱学校の取組等がわかる情報発信	学校は、通信や便り、ホームページ等で、情報を十分発信していると思いますか。	93	35
③授業づくりの工夫	学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。	93	29
⑤郷土愛の醸成とキャリア教育の推進	学校は、郷土を愛する心や、仕事や勤労及び将来について考える力の育成に取り組んでいると思いますか。	91	23
⑧一人一人の児童の尊重	学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。	91	18
⑭安全と事故防止	学校は、新型コロナウイルス感染症対策等、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。	90	33
⑲教育活動への参加	学校が公開している教育活動(行事、授業等)は、参加しやすいと思いますか。	90	28
⑮健康教育と食育の推進	学校は、食事や睡眠、新型コロナウイルス感染症対策など健康に対する意識を高めようとしていると思いますか。	90	19
①教育方針・目標の理解	学校は、家庭に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。	89	24
⑩学校行事への参加と工夫	学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。	88	33
⑫規範意識	お子さんは、規則やマナーを守っていると思いますか。	88	29
⑥道徳、心の教育の充実	学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にする「心の教育」の充実に努めていると思いますか。	87	23
⑳読書活動の推進・充実	学校は、読書活動の充実に向けて取組を工夫していると思いますか。	85	15
④主体的な学習態度	お子さんは、主体的に授業に取り組んでいると思いますか。	84	30
⑪児童理解	学校は、子どものことをよく理解していると思いますか。	84	22
㉒学力向上(家庭学習)	学校は、お子さんの家庭学習が進むように、その指導や働きかけの工夫を行っていると思いますか。	83	14
㉑家庭や地域との連携協力	学校は、保護者や地域の方々とはよく連携をとっていると思いますか。	82	13
⑦あいさつ、礼儀の励行	お子さんは、あいさつがきちんとできていると思いますか。	80	34
㉓基本的生活習慣	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き・勉強が、きちんとできていると思いますか。	78	24
⑬いじめや問題への対応	学校は、いじめや問題があったとき、すぐに複数の教師がチームで解決に向け動いてくれていると思いますか。	78	21

まとめ

本年度は、PTA活動及び学校行事等について感染対策を徹底しながら再開していく方向で学校経営を進めてきた。PTA会長及び学校運営協議会員のご尽力をもって、教育活動が円滑かつ充実したものになったことに最大級の謝意を表したい。特に、地域の皆様の参加による読み聞かせ・餅つき・老人会や保育園児との交流は、児童の学習効果を大きく高めるとともに、学校教育目標である「人のために働く児童の育成」に大きく貢献し、加えて地域の方の感想から推察するに参加者の生きがいにもつながったと感じている。この地域との交流を進めながら、行事を従来のやり方にただ戻すのではなく、児童の教育効果が更に高まり、職員の負担が減るように計画していくことが重要であると考えます。

学力面については、熊本県学力・学習状況調査の結果で見ると、どの学年も良好な結果となった。同時に行う児童の心のありようの調査も、概ねよい結果であった。しかし、学年ごとの課題や個に応じた課題に対する取組に終わりはなく、更に高みを目指す必要があることは言うまでもない。「課題を課題のままで進級させない」を合言葉に、最後の学習時間まで職員一丸となって取り組んでいく。

来年度も働き方改革を推進し、職員が働きやすい環境を創ることで、教育の質を上げる取組を継続していく。そのことで、児童の知・徳・体の向上を更に図りながら、学校教育目標の実現に迫っていく。職員には、新しいことに挑戦し、努力の在り方を自分自身で調整しながら、自分を更に向上させるよう求めていく。自分の努力が地域のためになり、周りを幸せにすることで自分が幸せを感じられるよう働きかけていく。

この学校評価では、保護者評価が他の評価者より厳しい現状である。学校として、職員が学校総体として努力し取り組んでいることを、学校便りや学級通信及びHPで発信している。職員自身の取組を高めながら、学校の伝える力も高めていく。保護者には、様々な機会を通して、情報は取りに行くものだという事も啓発していきたい。

これからも保護者・地域に学校を開き、地域とともにある学校となるよう努めていく。保護者・地域と支え合いながら、その相乗効果で信頼される学校づくりを進めていく。

あさぎり町立深田小学校
校長 東 誠志